令和８年度　立川市立若葉台小学校　授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎心豊かな子（生命や人権を尊重し、みんなと協力する心豊かな子ども） ○自ら学ぶ子（自分から学び、深く考え、行動する子ども） ○元気な子　（未来を切り拓き、世界や社会で活躍する元気でたくましい子ども）

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
・各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、児童の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。	・学んだことを相互に関連付けてより深く理解したり、情報をより詳しく調べて自らの考えをまとめたりすることや、問題を見いだして解決策を考えること、思いや考えを基に創造することに向かう過程を重視した学習の充実を図る。 ・授業のめあてを明確にし、見通しをもたせ、問題解決における「自力解決」や「学び合い」「振り返り」の場面を意図的・計画的に設定した授業を行う。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること	・考えや気持ちを表す豊かで適切な言葉を使えるようにするため、読書活動の推進を図る。 ・短い物語、新聞や雑誌のコラム等の文章を読み、あらすじを書く経験を増やし、要約することに慣れていけるようにする。 ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるよう短冊や付箋等を活用して展開する。
社会	・身近な地域、国土、産業などの特色、日本の政治や歴史、交際協力等について考え、適切に判断し、表現すること ・資料の調査等を通して、身近な地域、国土、産業などの特色、日本の政治や歴史、交際協力等と人々の生活との関連を理解すること	・グラフや統計資料、写真等の資料の読み取り方の基本を指導し、資料を読み取って分かる事実を交流し合う活動を設定する。 ・資料から読み取った社会的事実や事象を比較したり関連付けたりしながら、その意味や目的を考える活動を意図的に取り入れる。 ・授業の最後に、その時間で学習したことを、単元のねらいや本時の問いに照らし合わせながら自分の言葉でまとめ、全体で共有する時間を確保する。
算数	・事象を数理的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考え表現すること ・問題解決の過程や結果を多面的に考えること	・自分の考えを図や絵、言葉などで表すようにさせ、立式の根拠を明確にして説明する活動を意図的に設定する。 ・考えを出し合い、解法を検討する時間を充実させる。多様な考えに触れることで、そのよさに気付いたり理解を深めたりできるようにする。
理科	・自然事象の性質・働きや規則性について理解し、適切に観察・実験を行い、過程や結果を記録して、まとめたものを友達と比較・交流すること ・自然事象の様子や性質・働きについて、知識や過去の経験などから、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること ・自然事象の働きや規則性について、予想や仮説を基に条件を整えて、解決の方法を発想すること	・観察や実験のポイントや実験方法を正しくつかみ、得られた結果を分析し、自分の言葉でまとめ、友達と考えを交流する機会をもてるようにする。 ・予想・仮説では、これまでの学習や生活体験から根拠や理由を考えさせ、一人ひとり自分の言葉で表現できるようにする。 ・実験や観察で分かったことを、比較・検討したり、原因と結果を関連付けて考えたりして、表現方法を選んだり、工夫したりして、予想や仮説を表現できるようにする。
生活	・身近な人々や社会、自然と、自分の生活とを関連させて考え、表現すること	・自然の継続的な観察や見学、交流活動、グループ活動等の多様な体験を通して、意欲を喚起し、意欲が継続できるようにする。 ・観察や体験活動を通し、気付いたことや感じたことを、多様な方法で表現する活動を多く取り入れる。

音楽	・曲想と音楽の構造との関わりを考えて聴いたり、歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けたりすること ・自分の考えや思いを表現しながら、楽しんで音楽表現すること	・音楽の特徴をつかむために体を動かす活動を取り入れたり、音楽を可視化できるように拡大楽譜を使ったりして、音楽を理解し表現に生かせられるようにする。 ・音楽表現について言葉で共有する場面を多く作る。
図画工作	・形や色、表し方のよさや美しさを理解して生かし、材料や用具を工夫して使い、創造的に表現すること ・様々な作品を、造形的な視点で考え、イメージをふくらませて表し方や作り方を考え、感じ方を深めること ・つくりだす喜びを味わいながら、すすんで表現したり、鑑賞したりしようとすること	・道具の扱いや必要な知識・技能を定着させるため、スモールステップを設け、繰り返し行い、習得できるようにする。 ・児童の意欲が高まる題材・導入を行う。友達と意見交換をして、発想を広げる。鑑賞する時の視点を明確にし、発言・記述・挙手など、多様な方法で作品から感じたことを児童に表現させる。 ・制作途中・終末で鑑賞活動を取り入れ、友達の活動や作品を認め合う場を設定することで、自分の表現が認められる喜びを味わい、活動する意欲につなげていく。
家庭	・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについての理解と、それに関わる技能を身に付けること ・身に付けた技能を生かして家庭生活でどう生かすのかを考えること	・用具等の正しい使い方について、繰り返し指導をする。 ・ICT を活用し視覚的に工夫した板書・提示をする。 ・身に付けた技能を家庭でも実践できるように授業の振り返りで児童が考えられるようにする。
体育	・運動の行い方や決まりを理解し、基本的な動き（技）を身に付けること ・自己やグループの課題を見付け、その解決に向けて「場やルール、取り組み方」を選んだり工夫したりして、友達に伝えていること ・きまりを守り、友達と協力し合って、安全に気を付けながら進んで運動（遊び）に取り組もうとしていること	・運動の特性に応じた「コツ」を視覚的に理解させるとともに、互いの動きを確認し合う場を設け、安全で基本的な動きを身に付けられるようにする。 ・課題に応じてルールや場を選択できる教材を提示し、タブレット端末での相互撮影やアドバイス活動を通して、改善点を見付け、伝え合えるようにする。 ・すすんで挑戦する姿や協力し合う姿を価値付けて称賛し、互いのよさを認め合いながら、安全に気を付けて主体的に運動へ取り組めるようにする。
外国語	・言語や文化について理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむこと ・身近な事柄について聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと	・相手の言葉に積極的に耳を傾け、内容を理解しようとする意欲が高まるような場面設定を行う。 ・「相手に自分の思いを伝えたい」という気持ちを引き出す。そのために、主体的に伝えたいと思える場面設定を意図的に行い、伝えられたという達成感をもてるようにする。